

「基礎学力アップ教室」報告（2013年度 後期）

参加者数 のべ119名

CD 支援者

保育職に限らず就業すれば「文章力」はもちろんのこと、程度の差はあるにせよ「問題解決力」が試される場面に遭遇する。そのために学生は今から「文章力」と「問題解決力」を蓄積しておく必要がある。特に、問題解決に当たっては、情報整理力、冷静な分析力、論理的な判断力、視点を変えた柔軟な思考力を切迫した状況の中で発揮する必要がある。これらの能力を鍛えるには、いわゆる数学パズルや条件判断、論理判断の基本問題を一定の時間内に解く訓練が役立つ。

●実施講座（人数はのべ人数）

1	問題解決力強化（その3）		
	日時：10/8（火）～11/28（木）	人数：1年6名、2年14名	場所：CDセンター他
	内容 ①柔軟な思考力を養う数学パズル問題 ②条件判断、論理判断の基本問題 ③基本的な数的処理問題		
2	文章力強化（その2）		
	日時：11/18（月）～1/22（水）	人数：1年59名、2年3名	場所：CDセンター他
	内容 ①新聞コラム記事、保育に関する論文を題材にした穴埋め・文章の順序整列問題 ②熟語パズル ③作文作成と添削		
3	保育士としてよく使用する漢字		
	日時：1/14（火）～1/28（火）	人数：1年37名	場所：CDセンター他
	内容 ①漢字の書取り ②漢字の読みがな ③解説		

●振り返り

『問題解決力強化』では、意欲の高い学生が多く、数学パズルや数的問題に熱心に取り組んだ。特に、論理的思考力の強化に繋がったと考える。

『文章力強化』は、「読む力」と「書く力」の両方を高める講座として行い、多くの学生が参加した。「読む力」は学生が興味を示す題材を準備し、文章の論理展開をじっくり読み解いていくことに取り組んだ。「作文」はテーマを2-3指定し、1時間で800字の作文を書かせ、添削後に個別に指導を行った。熟語パズルにも学生は意欲的に取り組んだ。

『保育士としてよく使用する漢字』は、1年生が初めて行う実習の前に実施した。書取りの正解率は53-85%であった。読みやすい字を書くために、ペンの持ち方、書く姿勢についても指導した。

